日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの

新・アジサイだより

写真 A

7月21日 総務企画危機管理委員会で質問

投票率50％割れ、さらなる投票環境の改善を

参議院選挙の本県選挙区選挙投票率は、４９．４％（男性５０．４３％女性４８．６７％）でした。投票率アップについて質すと選挙管理委員会事務局長は「期日前投票所も１１８と増やしてきたが、さらに投票環境の整備、向上、啓発の充実に努めたい。」と答弁。さらに、高齢者施設や病院などでの投票権の確保と投票の秘密が守られるよう求めました。

在日米軍オスプレイの小川原湖での訓練は中止を

質問の中で５月の日米合同委員会で訓練範囲の拡大を合意した事実が判明しました。安藤は「昨年に続くシジミ漁や観光の小川原湖での訓練を認めるべきでない。日米地位協定の改正とオスプレイの撤去を国や米軍に求めるべき」と主張。

再処理工場高レベル廃液冷却機能一時喪失、一歩間違えれば大事故に

今回の冷却機能一時喪失についての概要と通報を受けた内容、県の対応を質しました。原子力安全対策課長は「7月3日に、安全冷却機能が一時喪失していたと通報を受けた。その内容は、冷却機能2系統あるうちA系列は工事のため停止しており、運転中のB系列の仕切弁が閉鎖され、2系列が7月2日15時31分から23時44分までの8時間停止した。23時44分に当直員が仕切弁を開き安全冷却水の流量が復帰し安全機能が回復した。原因については調査中というものだった。

「7月8日には廃液温度が32度まで上昇し、安全冷却水の供給停止によるものであり、非常事象であるとの判断から法令報告としての通報があった」とし、安藤は原因と再発防止を求めると共に、閉鎖してはならないB系列の仕切弁を誤操作したヒューマンエラーであったことを問題視しました。

今回の質問で「A系列の工事関係者は約30名、ガラス固化建屋に入ることが可能だったものが２３０名おり、全ての作業員に対し事情聴取をしたが、誰が誤操作したか判明しなかった」という事実は、安全文化が定着していない証拠だと指摘し再処理工場は本格稼働させてはならないと訴えました。

他に

- 知事部局の人事評価制度について
- 第80回スポーツ大会について
- 大雨災害に係る県の対応について

モリカケの
弔意押し付け
ごめんです
（はるみのワクワク川柳）

７月の活動日誌

７月１日　弘前工業研究所 100 周年記念式典
　　７日　知事による高品質りんご生産現地激励
　　21 日　総務企画危機管理委員会（写真 A）
　　22 日　弘前第一養護学校調査
　　26 日　中弘地区農業大会
　　29 日　核燃原発 NO！金曜日行動（写真 B）
　　30 日　いわき夏まつり
　　31 日　憲法９条守れ、戦争法廃止弘前集会
８月１日　弘前ねぷたまつり出陣式（写真Ｃ）
　　２日　腰巻川大雨調査　ねぷたまつりだ９条アピール行動
　　６日　新婦人６・９行動
　　５日、７日　大川地区大雨りんご園地冠水現場調査（写真Ｄ）

写真 D

高橋千鶴子衆議院議員、吉俣洋県議と共に被災した生産者から話を聞く

写真 B

写真 C

ほっとタイム

（　優生思想　）

戦後77回目の８月が来ました。８月は毎年平和に関わる興味深い番組が組まれます。一昨年の８月に放映された「優生思想と向き合う～戦時ドイツと現代の日本～」は、撮っておいたビデオを何度も繰り返し見てきました。

番組では、日本障害者協議会代表藤井克徳氏が知的障害者福祉施設「津久井やまゆり園」で入所者ら４５人を殺傷した植松聖死刑囚について「植松は生産性、効率性に重心がかかった時代に生まれ育ち、強い者がいい、弱い者は負け組という時代の影響を受け、生命を選別する優性思想に至ったのではないか」と語っています。そしてドイツでヒトラーが「恵みの死」と位置付けたハダマーの極秘計画Ｔ４作戦で、精神科病院の地下ガス室で障害者、病人７万人が殺害された事件を紹介。市民は、その病院に毎日バスでたくさんの人が運び込まれ空っぽのバスが帰り、絶えることなく煙突から白い煙が出、周辺に立ち込める臭いを元兵士は人間が焼かれる臭いと証言。それでも市民は告発できなかった。そんな中、教会の司教フォンガーレンが信者の家族が殺されていることを知り「非生産的な市民を殺していいという原則ができれば、私たちも老いて弱った時殺されるだろう。行われていることは「恵みの死」ではなく単なる殺害だ」と明言し、ヒトラーはこの原稿を没収しようとしたが、全国のキリスト教団体に書き写された言葉が送られ、市民にも複写がわたりそれが政府を動かし、ヒトラーがＴ４作戦の中止を決めた。しかし、ヒトラーは次にユダヤ人を強制収容所で殺害する計画に移行させ、なんと６００万人の犠牲者を生み出した。その殺害の役割を果たしたのがＴ４作戦に関わった医師や看護師だった。そしてドイツ敗戦時、Ｔ４作戦は終わってもなお障害者や病人の殺害は続けられ、20万人の命が奪われていたことが判明と紹介されています。

藤井氏は最後に「人に内在している優生思想とどう向き合うのか問われている。１人さきん出るのではなく、相手の痛みを知り、異なった意見を大事にすることの大切さを個人・社会・教育の場で培うべき」と説いています。

党創立１００年を迎えた今、私たちの不屈の斗いの必要性を改めて感じています。命が大切にされる社会のために。

発行：安藤はるみ　事務所　弘前市宮川２丁目３－２　電話０１７２－３５－７０２１　自宅０１７２－３５－２２７０
10：00～15：00（土・日・祝日休み　留守電対応）
Ｅメール　ando-harumi@theia.ocn.ne.jp　ホームページアドレス　http：// ando-harumi.com/

７月の相談件数　４件
ホームページアクセス数 65,156 件